

地域連携参加型学習

実施者

経済学研究科 准教授 竹内 真登
人間文化研究科 准教授 准教授 谷口 由希子、
芸術工学研究科 准教授 フィルフォヴァ ネダ、教授 水野 みか子
名古屋市教育委員会連携推進准教授 湯浅 郁也

連絡先

教務企画室 kyoumu_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

連携・協力者

名古屋市文化振興事業団、名古屋
市子ども青少年局等

ポイント

学生が教室から外に出て地域の課題
に触れ、地域の人々と触れ合いなが
ら、学んでいます

1 概要

- ・「地域連携参加型学習」は、経済学部・人文社会学部・芸術工学部の3学部の学生が学部の枠を超えて、大都市名古屋の地域における現在の課題、中長期の課題とは何かを現場で学び、課題とその解決策を考察することを目的として、平成26年度から開講している科目です。
- ・学生が少人数グループに分かれて実際に地域に出て地域コミュニティと関わり、地域ニーズの発見と実際の課題の解決をテーマに学習しています。

2 活動内容

- ・令和5年度は、以下のような調査・活動を行いました。
 - ① この地域の家庭での困り事の把握とその解決策の検討：若者を対象にして
 - ② 名古屋市における子どもの居場所とその提案
—利用する子どもおよび支援者への調査を通して—
 - ③ 名古屋市立大学の学生が文化的なイベントに興味を持つようになるためにできること
 - ④ 名古屋の教育

3 成果

- ・活動成果については、学内で発表会を実施しています。



地域連携参加型学習発表会